令和　　年　　月　　日

別記様式

国立大学法人東京大学先端科学技術研究センター所長　殿

公益財団法人石川県産業創出支援機構理事長　殿

（提案者１　東大先端研）

所　　在　　地：東京都目黒区駒場四丁目６番１

職　・　氏　名：

（提案者２　企業）

所　　在　　地：

名　　　　　称：

代表者職・氏名：

令和２年度東京大学先端科学技術研究センター共同研究創出支援事業計画書

（新技術・新製品研究開発支援事業）

１　申請事業

|  |  |
| --- | --- |
| テーマ名 |  |
| 事業期間 | 令和 | ２ | 年 |  | 月 | ～ | 令和 |  | 年 |  |  月 |

２　事業内容

□実施体制（別紙１）　□事業内容（別紙２）　□事業予算（別紙３－１、３－２）

□事業概要（別紙４） □類似計画状況説明書（別紙５）

３　その他（直近2カ年分の決算書を添付。連携体も同様の書類が必要です。）

□貸借対照表　　　　　　　 　□損益計算書

 □販売費及び一般管理費明細　 □製造原価明細　　□株主資本等変動計算書

※添付した書類にチェックを入れてください。原則全て必要です。

※個人事業主の方は、直近2カ年分の確定申告書の写しをご提出ください。

（事業計画書の作成者）

　（１）先端研教員

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ① | 職・氏名 |  |
| ② | 連絡先 | TEL |  | FAX |  |
| ③ | 電子メールアドレス |  |

　（２）企業

注）用紙は、原則として日本工業規格Ａ４版を使用してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ① | 職・氏名 |  |
| ② | 勤務先住所 | 〒 |
| ③ | 連絡先 | TEL |  | FAX |  |
| ④ | 電子メールアドレス |  |

別紙１

実施体制

１　申請企業概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 先端研教員 | 企業 |
| ① | 名称 | ― |  |
| ② | 代表者職・氏名 | ― |  |
| ③ | 本社所在地 | ― |  |
| ④ | 資本金（千円） | ― |  |
| ⑤ | 従業員数（人） | ― |  |
| ⑥実施体制 | 実施場所 |  |  |
| 担当部署名 |  |  |
| 主任研究者職・氏名 |  |  |
| 研究員の人数 |  |  |
| 連絡先（電話） |  |  |
| 連携体での役割・分担 |  |  |

２　その他連携体構成員及びアドバイザー

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ① | 名称 |  |  |  |
| ② | 代表者職・氏名 |  |  |  |
| ③ | 本社所在地 |  |  |  |
| ④ | 資本金（千円） |  |  |  |
| ⑤ | 研究員数（人） |  |  |  |
| ⑥実施体制 | 実施場所 |  |  |  |
| 担当部署名 |  |  |  |
| 主任研究者職・氏名 |  |  |  |
| 連絡先（電話） |  |  |  |
| 連携体での役割分担 |  |  |  |
|  |  |  |

④⑤は大学、研究機関については記載不要別紙２

事　業　内　容

※別紙２は全体で１５枚程度としてください。

　記入用の枠の大きさは必要に応じて変更してください。必要に応じてグラフ、図表等を用いていただいて構いません。

１　研究開発の背景とこれまでの取り組み

１（１）研究開発の背景

研究開発に至った背景を、市場性や必要性を含めて記入してください。

|  |
| --- |
| ・研究開発の意義・必要性・抱える課題・ニーズ、ユーザー、市場規模・市場占有率、市場製品の販売数量・売上額　などについて記入してください。 |

１（２）同研究における申請者のこれまでの取り組みや関連技術（ノウハウ含む）

本研究につながるこれまでの技術開発（または製品開発）や申請者の強み等について記入してください。できるだけ数字（表やグラフ等）を使って具体的に記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 先端研教員 |  |
| 企業 |  |

２　研究開発内容

２（１）研究開発の目標

本申請における研究開発の目標を現在の状況（価格面や性能面等）と比較し、数字を用いながら具体的に記入してください。

|  |
| --- |
|  |

２（２）新旧技術比較

研究開発前後での技術の違いが分かるように記入してください（必要に応じてグラフや表等を使ってください）。また、新規性や独創性、革新性についても記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 従来技術 | 研究開発後の技術 |
|  |  |

２（３）研究開発の課題及びその解決方法・実施方法

研究開発について、項目ごとに課題とその解決方法・実施方法を記入してください。（活用する東大先端研シーズについて記入してください。連携体やアドバイザーがいる場合は、役割分担（誰が担当するのか）についても記入してください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 課題１ |  |
| 解決方法・実施方法・担当機関等 | ・研究項目1-1・解決方法・実施方法・担当機関・研究項目1-2・○○・・・ |

|  |  |
| --- | --- |
| 課題２ |  |
| 解決方法・実施方法・担当機関等 |  |

※項目が足りない場合はコピーして追加してください。

３　研究開発スケジュール及び実施体制図

（１）研究開発スケジュール

「２（３）研究開発の課題及びその解決方法・実施方法」に記入した研究開発の課題ごとに研究実施スケジュールを記入してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　　年　月研究項目 | R2〇月 | R2〇月 | R2〇月 |  |  |  |  |  |  |
| 研究項目1-1〇〇の確立 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究項目1-2〇〇の選定 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究項目2-1〇〇の検証 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※項目が足りない場合は適宜追加してください。

（２）実施体制図

　研究開発の実施体制について、各機関の具体的な役割が分かるように図示してください。

|  |
| --- |
| （例示）　　　　　　東大先端研・教員　（市場ニーズの提供）　　　　共同研究　　　　　　　　　　　　　　　　　企業（〇〇株式会社）　　　　　　　　　アドバイザー等　　　（試作品の設計・製作、製品化）　　　　　　（市場ニーズの提供）　　　共同研究　　　　　　　　　　共同研究　　　　　連携企業Ａ　　　　　　　連携企業Ｂ（試作部材の成形の担当）　　（試作品の軽量化・小型化の担当） |

４　研究開発の事業化計画

４（１）研究開発成果に係る製品等の概要

研究開発成果に係る製品等の名称、概要（用途、特徴等を記載）を製品等毎に記載してください。

|  |
| --- |
| 製品の名称：○○の精密微細加工機機能・規格・特徴など： |

４（２）事業化スケジュール

|  |  |
| --- | --- |
| 製品等の名称 | （１）　○○の精密微細加工機 |
| 開発事業者 | 株式会社○×工業 |
| 想定する販売先 | ◎◎重工業株式会社 |
| スケジュール | 事業年度 | 令和〇年度 | 令和〇年度 | 令和〇年度 | 令和〇年度 | 令和〇年度 |
| サンプルの出荷・評価 |  |  |  |  |  |
| 追加研究 |  |  |  |  |  |
| 設備投資 |  |  |  |  |  |
| 製品等の生産 |  |  |  |  |  |
| 製品等の販売 |  |  |  |  |  |
| 売　上　見　込 | 売上高（千円） |  |  |  | \*,\*\*\* | \*\*,\*\*\* |
| 販売数量 |  |  |  | \*\*台 | \*\*\*台 |
| 売上高の根拠 |  |
| 販　売　戦　略 | 販売促進戦略・知財戦略 |  |

※製品等が複数ある場合は、製品等ごとに記載してください

５　地域経済への効果、ＳＤＧｓへの取組み（波及効果面）

本研究の成果が地域経済にもたらす波及効果（地元企業への発注等）や、本研究の成果がＳＤＧｓ「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」達成に貢献する場合にはどのように貢献するのか、について記入してください。

|  |
| --- |
|  |

６　専門用語等の解説

専門用語・略語等についてそれぞれ簡潔に解説してください（異業種や他分野が専門の方にも分かるように記入してください）。

|  |  |
| --- | --- |
| 専門用語・略語 | 解説 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

※適宜、行を追加・削除してください。